



# 東広会ニュース

## 1月号

2022年(令和四年)

Vol.199

発行所 東京都渋谷区恵比寿南1-5-5  
JR恵比寿ビル10F東日本鉄道東京広告会  
電話 03(5447)7928  
E-MAIL info@tokokai.jp

## 東日本鉄道東京広告会「新年賀詞交歓会」開催

東日本鉄道東京広告会主催の令和四年「新年賀詞交歓会」が1月6日(木)18時よりホテルメトロポリタンエドモントにおいて、東日本旅客鉄道株式会社代表取締役副社長喜勢陽一様、株式会社ジェイアール東日本企画取締役会長原口幸雄様の来賓を迎えて開催された。今回の「新年賀詞交歓会」は、会場人口での「検温」「消毒」と「マスク着用」の徹底の他、出席人数の限定等の新型コロナウイルス感染症対策が実施され、着席形式で開催された。

東日本鉄道東京広告会が発足してから今年で17回目を迎える令和四年「新年賀詞交歓会」が1月6日(木)18時より東京都千代田区飯田橋のホテルメトロポリタンエドモント2階「悠久」において、東日本旅客鉄道株式会社代表取



乾杯の音頭をとる喜勢 陽一 東日本旅客鉄道(株) 代表取締役副社長

締役員副社長喜勢陽一様、株式会社ジェイアール東日本企画取締役会長原口幸様、株式会社ジェイアール東日本企画取締役交通媒体本部長星野雅央様、JR東日本メディア株式会社代表取締役社長島田亮様他の来賓を迎えて開催された。

今回の「新年賀詞交歓会」は、会員各社の健康と安全を優先して着席形式で行われ、会場人口での「検温」「消毒」と「マスク着用」の徹底の他、事前受付により出席人数を会員社各1名に限定する等の新型コロナウイルス感染症の対策が実施された。

新年を祝う「新年賀詞交歓会」では、東日本鉄道東京広告会に加盟する会員各社が出席し、出席者での懇親が深められるとともに会員各社の相互交流が行われた。

会場では「新年賀詞交歓会」での壇上での挨拶に代わり、喜勢陽一東日本旅客鉄道株式会社代表取締役副社長、赤石良治東日本鉄道東京広告会会長の「新年のごあいさつ」が参加者全員に配布された。(挨拶文掲載)

## 東日本旅客鉄道(株)代表取締役副社長 喜勢陽一様 ごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。旧年中は格別の御高配を賜り有難うございました。また、日頃よりJR東日本ならびに、弊社交通広告をご利用いただきまして、心から御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う二度にわたる緊急事態宣言或いはまん延防止措置の影響により、一昨年に続き当社グループにとつて厳しい一年となりました。しかしながら私どもは、こうした社会の大きな変容を将来のさらなる成長に向けたビジネスの構造改革のチャンスと捉え、「安全」を引き続き経営のトッププライオリティと位置づけつつ、「収益力向上」、「経営体質の抜本的強化」および「ESG経営の実践」の三つの面でグループ経営ビジョン「変革2027」の実現のスピードとレベルをさらにアップする取組みを進めてまいりました。

新たな収益力向上の取組みとしては、「Beyond Stations 構想」という駅空間の価値をグループ全体の収益の最大化という観点からデザインし直し、駅を新たなビジネスの発信拠点とする取組みをスタートさせています。本年はそれを更に推し進め、リアルな強みを活かしつつデジタル領域と接続することで、駅を「交通の拠点」を超え、ヒト・モノ・コトがつながる

「暮らしのプラットフォーム」へと転換を図ってまいります。駅空間を新たなメディア媒体とするという取組みもその一環になります。

本年は鉄道開業150年という記念すべき節目の年となります。長年のご支援に感謝すると共に、さらにサステナブルに成長する新しい将来を切り拓くため、より一層飛躍する一年となるよう前進を続けてまいります。鉄道に注目が集まる好機をビジネスチャンスと捉え、交通広告におきましても、引き続き皆様にご愛顧いただけますよう、弊社グループ一体となって、媒体価値向上や新たな交通広告の開発に一層励む所存でございます。本年もご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆様のご健康と各社様の益々のご発展を心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

### 東日本鉄道東京広告会会長 赤石 良治 ごあいさつ

2022年の年頭にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

旧年中は、東日本鉄道東京広告会の活動に格別のご高配を賜り、誠にありがとうございました。

昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の発動期間が年頭から九月末までにおよび、鉄道事業は引き続き大きな打撃を受け、交通広告も同様に厳しい一年となりました。会員各社の

皆様には多大なるご心配とご苦勞をお掛け致しました。このような状況下にありながらも、新宿駅東西自由通路に設置された大型LEDサインージ「新宿ウォール456」に多くのご出稿をいただくなど、逆境の交通広告を支え続けていただきました皆様のご厚情に心より感謝申し上げます。

「その場所、その時」のリアルな接点にこそ交通広告の価値の源泉があります。総力を結集し、一日も早くその回復を図らなくてはなりません。そのためには当広告会におきましても、会員間の紐帯をより強くする必要がありますとの想いから、皆様との様々な「リアル」の実現に向け、試行錯誤を繰り返して参りました。

緊急事態宣言が解除された十月、一昨年はオンラインで開催せざるを得なかった「交通広告グランプリ2021」



中締めをする赤石 良治 東広会会長

を、二年ぶりにリアルで開催いたしました。多くの広告主様、メディア関係者様、広告会社様が一堂に会する素晴らしい機会にあらためて気づかされた一日でした。本年こそは、このような従前には当たり前にあった人間社会には不可欠の交流・社交の場を取り戻し、人流の復活と交通広告の価値向上を実現していきたいものです。

JR東日本が推進する「Beyond Stations構想」は、本年大きな拡がりを見せます。リアル領域では、モデル駅となる上野駅等で新たなサービス開始に向けた整備が進みますし、メタバース領域においても、昨夏VRイベントに出店した「バーチャル秋葉原駅」が更なる進化を遂げる予定です。これからも駅・車両空間価値の飛躍的向上につながるビヨンド感・クロスオーバー感のあるイノベーションな媒体創造を進めて参ります。

また、媒体価値の見える化を目的として首都圏十一社局と連携して進めております媒体接触などのデジタルデータのメジャメント標準化に向けた取り組みにつきましても、実証実験の結果を踏まえ、より選ばれる媒体を目指し更に検討を深めて参ります。

皆様には、本年も交通広告の更なる販売をお願いするとともに、当広告会につきましても、何卒ご支援、ご協力のほどお願い申し上げます。

皆様のご健勝と会員各社様の益々のご繁栄を祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 第2回広告関係10条教育講習会開催

広告関係の「鉄道に関する技術上の基準を定める省令（平成24年国土交通省令第69号改正）」10条に関する講習会が、JR東日本本社事業創造本部主催で、12月17日（金）日本鉄道施設協会講習室において第2回目（在来線）が開催され、41名の受講者が講習を受けた。

受講対象者は、広告関連会社の工事管理者等で、前述の省令第10条（係員の教育及び訓練等）2項「鉄道事業者は列車等の運転に直接関係する作業を行う係員が作業を行うのに必要な適正、知識及び技能を保有していることを確かめた後でなければその作業を行わせてはならない」に基づき、講習を受けることが義務付けられている。



第2回広告関係10条教育講習会の様子

< 2021年度 第3四半期 媒体別売上実績 >

(単位:百万円)

媒体	第3四半期				4月～12月累計				
	2021年度	2020年度	前年比	増減	2021年度	2020年度	前年比	増減	
車両メディア	中づり	350	409	85.5%	-59	1,087	1,238	87.8%	-151
	まど上・ドア上	288	340	84.8%	-51	766	1,116	68.7%	-349
	ドア横新B	467	463	101.0%	5	1,546	1,684	91.8%	-138
	ステッカー	234	360	65.0%	-126	754	1,403	53.7%	-650
	ADトレイン・車体広告	199	112	178.2%	88	502	364	138.0%	138
	新幹線・ローカル・他社線	44	64	68.0%	-20	146	200	73.1%	-54
	車内デジタルサイネージ	1,283	1,389	92.3%	-107	3,140	3,865	81.2%	-725
計	2,865	3,137	91.3%	-272	7,941	9,871	80.4%	-1,930	
駅メディア	駅ポスター	303	276	109.8%	27	843	674	124.9%	168
	SPメディア	737	325	226.7%	412	1,822	1,045	174.3%	777
	サインボード	1,564	1,638	95.5%	-73	4,698	5,079	92.5%	-380
	フリーペーパーラック 店舗ラッピング	99	111	88.6%	-13	300	351	85.3%	-52
	駅デジタルサイネージ	760	415	182.9%	344	1,760	1,188	148.1%	572
計	3,463	2,765	125.2%	697	9,423	8,338	113.0%	1,085	
メディア計	6,328	5,902	107.2%	426	17,363	18,208	95.4%	-845	
その他(工事 他)	12	19	62.1%	-7	28	70	39.5%	-42	
総計	6,340	5,922	107.1%	418	17,391	18,278	95.1%	-887	

「J企」2021年度第3四半期売上」まとまる

J企交通媒体本部の2021年度第3四半期売上は、63億40百万円、対前年107.1%となった。メディア別では、車両メディアは対前年91.3%で、駅メディアは対前年125.2%となった。2021年4月から12月累計では、173億91百万円となり、対前年95.1%となった。

■車両メディア(第3四半期実績  
28億65百万円、対前年91.3%)

「中づり」「まど上・ドア上」「ステッカー」「車内デジタルサイネージ」は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により大口出稿が減少し前年度を下回った。

「ドア横新B」「ADトレイン・車体広告」は大口出稿が増加したこと等により前年度を上回った。

一部の商品を除いた全ユニット横断商品「フリープランニング」の他、各メディアの企画商品を網羅した「ニューノーマルにおけるコミュニケーション応援キャンペーン」の販売が実施された。横須賀線・総武線快速にE235系新型車両が順次導入され、横須賀線・総武線快速で「トレインチャンネル」「まど上チャンネル」「サイドチャンネル」の放映が行われている。

■駅メディア(第3四半期実績  
34億63百万円、対前年125.2%)

「駅ポスター」は、「一般ポスター」は前年度を下回ったが、「セット商品」が前年度を上回り、前年度を上回った。

「SPメディア」は、「自動改札ステッカー」は前年度を下回ったが、「イベント」「SPボード等」「集中貼り」が前年度を上回り、前年度を上回った。

「サインボード」は、「予約販売」等の販売に努めたが前年度を下回った。「駅デジタルサイネージ」は、大口出稿が増加したこと等により前年度を上回った。

2021年度  
「作業責任者安全講習会」を開催

2021年度下期の「作業責任者安全講習会」が3月1日(火)から6日間、池袋メトロポリタンプラザビル12階第1会議室で開催される。

この安全講習会は、「作業責任者としての任務及び誘導員等の任務の習得」を目的とした安全への取組み、教育指導の周知を図るもので、駅構内で作業を行う広告会社関連の作業責任者だけでなく、駅構内での調査などを行う社員等も対象とした幅広い講習会となっている。

なお作業責任者として登録されている方も継続受講者として全員が受講する必要があり、もし受講されない場合は「作業責任者登録証」が失効となります。※詳細はJR東日本メディア(株)

設備管理部 安全指導課  
(電話番号) 03・5391・1246

J企の主な人事異動(交通媒体本部関係)

竹澤 康行氏 (1月1日付)  
監査室長(交通媒体局 担当局長)

事務局からのお知らせ

まだ連絡先(Eメールアドレス)を東広会事務局に連絡していない会員会社さまは、東広会事務局に連絡先をご連絡ください。

※東広会事務局連絡先  
(メールアドレス) info@tokokai.jp  
(電話番号) 03-54447-7928